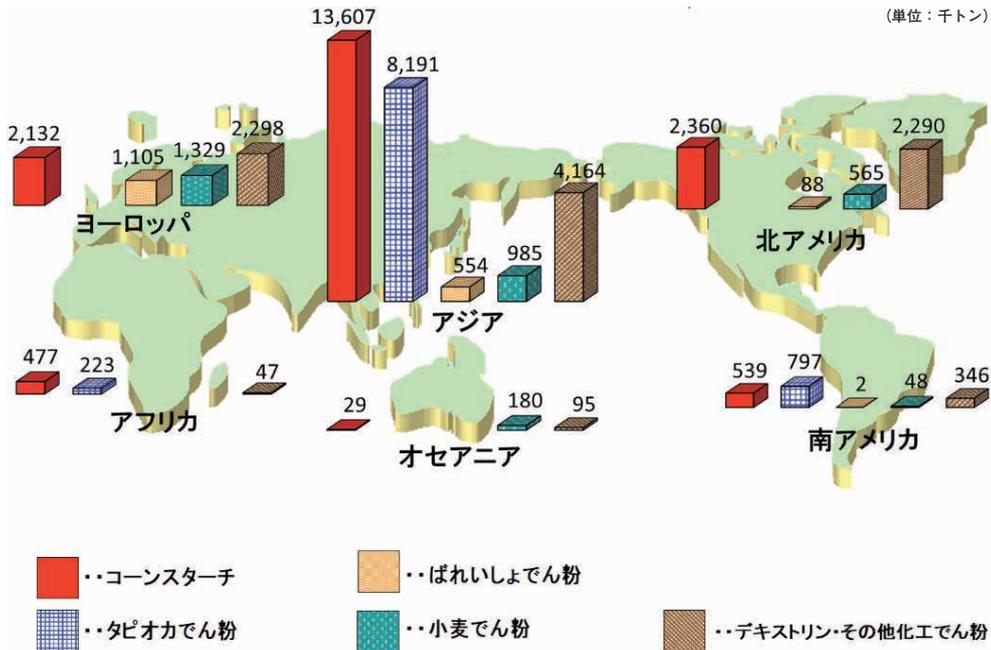


でん粉の国際需給

調査情報部 荒川 侑子

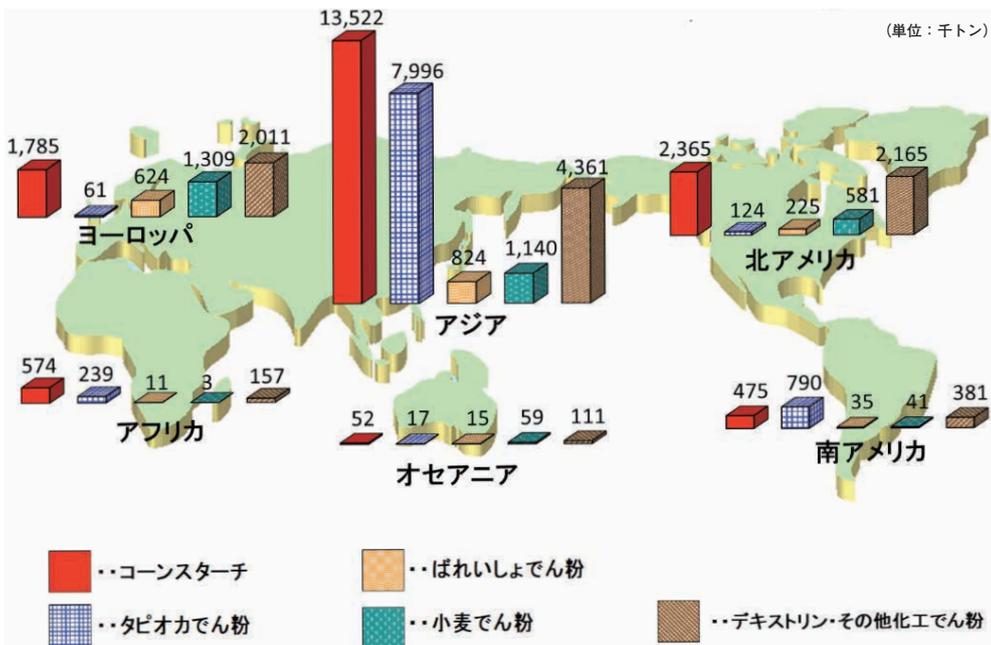
1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量 (2019年)



資料: LMC International® 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 (※農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量 (2019年)



資料: LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成
 注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 キャッサバ取引価格

年・月	タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2014年	2.10	6.76
2015年	2.16	6.78
2016年	1.52	5.66
2017年	1.40	5.14
2018年	2.38	6.85
2019年	1.89	6.30
2020年 6月	1.62	6.13
7	1.64	6.39
8	1.73	7.00
9	1.76	7.09
10	1.74	7.13
11	1.85	7.28
12	2.05	7.21
2021年 1月	2.03	6.64
2	2.07	6.80
3	2.13	7.06
4	2.08	7.09
5		7.09

資料：タイ農業協同組合省、タイ商務省

注：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したものの。

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2021年5月末日TTS相場の値であり、1米ドル=111円（110.76円）、1タイバーツ=3.59円、1ユーロ=135円（135.24円）である。

トウモロコシ・コーンスターチ

世界

【需給動向：トウモロコシ】

2021/22年度の世界のトウモロコシ生産量、前年度からやや増加する見込み

米国農務省世界農業観測ボード(USDA/WAOB)および米国農務省海外農業局(USDA/FAS)は2021年6月10日、2021/22年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した(表2)。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は前回と変わらず、11億8985万トン(前年度比5.8%増)と予測された。国別に見るとブラジル(同19.8%増)およびウクライナ(同23.8%増)では記録的な生産増が予測され、米国(同5.7%増)、アルゼンチン(同8.5%増)および中国(同2.8%増)でも過去最高水準に近い生産が見込まれている。

輸出量も前回と変わらず、1億9747万トン(同

5.6%増)と予測された。国別に見るとブラジル(同30.3%増)とウクライナ(同32.6%増)で大幅な増加が見込まれるものの、米国(同14.0%減)はこれら輸出国との競合により減少が見込まれている。

輸入量も前回と変わらず、1億8951万トン(同3.0%増)と予測された。国別に見ると、主要輸入国である中国の輸入量は2600万トンと前年度から変わらないものの、引き続き高水準での推移が見込まれている。

消費量は4万トン下方修正されて、11億8104万トン(同2.7%増)と予測されたものの、消費大国であるブラジル(同5.8%増)、米国(同1.2%増)および中国(同1.7%増)などで増加が見込まれている。

期末在庫は、2020/21年度の期末在庫の下方修正に伴い、前月から1.0%減の2億8941万トン(同3.1%増)と見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し（2021年6月10日米国農務省公表）

（単位：百万トン）

国名	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
			(5月予測)	(6月予測)	前年度比 (増減率)
米 国					
期首在庫	56.41	48.76	31.93	28.12	▲ 42.3%
生産量	345.96	360.25	380.76	380.76	5.7%
輸入量	1.06	0.64	0.64	0.64	-
消費量	309.51	309.13	312.82	312.82	1.2%
輸出量	45.17	72.39	62.23	62.23	▲ 14.0%
期末在庫	48.76	28.12	38.28	34.47	22.6%
アルゼンチン					
期首在庫	2.37	3.62	2.12	2.12	▲ 41.4%
生産量	51.00	47.00	51.00	51.00	8.5%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	-
消費量	13.50	14.50	14.50	14.50	-
輸出量	36.25	34.00	36.00	36.00	5.9%
期末在庫	3.62	2.12	2.63	2.63	24.1%
ブラジル					
期首在庫	5.31	5.23	5.23	5.23	-
生産量	102.00	98.50	118.00	118.00	19.8%
輸入量	1.65	3.50	1.70	1.70	▲ 51.4%
消費量	68.50	69.00	73.00	73.00	5.8%
輸出量	35.23	33.00	43.00	43.00	30.3%
期末在庫	5.23	5.23	8.93	8.93	70.7%
ウクライナ					
期首在庫	0.89	1.48	0.89	0.89	▲ 39.9%
生産量	35.89	30.30	37.50	37.50	23.8%
輸入量	0.03	0.02	0.02	0.02	-
消費量	6.40	7.90	6.80	6.80	▲ 13.9%
輸出量	28.93	23.00	30.50	30.50	32.6%
期末在庫	1.48	0.89	1.11	1.11	24.7%
中 国					
期首在庫	210.16	200.53	198.18	198.18	▲ 1.2%
生産量	260.78	260.67	268.00	268.00	2.8%
輸入量	7.60	26.00	26.00	26.00	-
消費量	278.00	289.00	294.00	294.00	1.7%
輸出量	0.01	0.02	0.02	0.02	-
期末在庫	200.53	198.18	198.16	198.16	▲ 0.0%
世界計					
期首在庫	322.56	305.45	283.53	280.60	▲ 8.1%
生産量	1,117.50	1,125.03	1,189.85	1,189.85	5.8%
輸入量	167.59	184.01	189.51	189.51	3.0%
消費量	1,134.61	1,149.88	1,181.08	1,181.04	2.7%
輸出量	172.46	187.04	197.47	197.47	5.6%
期末在庫	305.45	280.60	292.30	289.41	3.1%

資料：UDDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注：各国の穀物年度 世界、米国：9月～翌8月/ウクライナ、中国：10月～翌9月/アルゼンチン、ブラジル：3月～翌2月。

米 国

【需給、価格動向：トウモロコシ】

2021/22年度の米国トウモロコシ期末在庫率、9%台の見込み

USDA/WAOBは2021年6月10日、2021/22年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、同国のトウモロコシ需給見通しは次の通りである（表3）。

生産量は前回と変わらず、149億9000万ブッシェル（3億8076万トン^{（注）}、前年度比5.7%増）と予測されており、これまでの統計で最も生産量の多かった2016/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）をわずかに下回る過去2番目の水準となっている。

消費量も前回と変わらず、123億1500万ブッシェル（3億1281万トン、同1.2%増）と予測された。

輸出量も前回と変わらず、ロシア産やウクライナ

産との競合によって米国産のシェアが縮小し、24億5000万ブッシェル（6223万トン、同14.0%減）と記録的な輸出力となった前年度からかなり大きく減少すると予測された。

期末在庫は、2020/21年度の国内消費量のうちエタノール向け（新型コロナウイルス感染症〈COVID-19〉の感染拡大前の水準まで需要が回復）と輸出力が上方修正されたことに伴い、2021/22年度の期首在庫が下方修正されたため、前月から10.0%減の13億5700万ブッシェル（3447万トン、同22.6%増）と予測された。その結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は前月から1.0ポイント減の9.2%（同1.8ポイント増）となった。

また、生産者平均販売価格は前回と変わらず、1ブッシェル当たり5.70米ドル（633円。1キログラム当たり24.9円）と予測された。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2021年6月10日米国農務省公表）

区 分	—単位—	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度			
				(5月予測)	(6月予測)	参考(換算値)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	89.7	90.8	91.1	91.1	36.9(百万ヘクタール)	0.3%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	82.5	83.5	83.5	33.8(百万ヘクタール)	1.2%
単収	(ブッシェル/エーカー)	167.5	172.0	179.5	179.5	11.3(トン/ヘクタール)	4.4%
生産量	(百万ブッシェル)	13,620	14,182	14,990	14,990	380.76(百万トン)	5.7%
輸入量	(百万ブッシェル)	42	25	25	25	0.64(百万トン)	-
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,919	1,257	1,107	28.12(百万トン)	▲42.3%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,883	16,127	16,272	16,122	409.51(百万トン)	▲0.0%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,185	12,170	12,315	12,315	312.81(百万トン)	1.2%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,897	5,700	5,700	5,700	144.79(百万トン)	-
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,287	6,470	6,615	6,615	168.03(百万トン)	2.2%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	4,857	5,050	5,200	5,200	132.09(百万トン)	3.0%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,778	2,850	2,450	2,450	62.23(百万トン)	▲14.0%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,963	15,020	14,765	14,765	375.05(百万トン)	▲1.7%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,919	1,107	1,507	1,357	34.47(百万トン)	22.6%
期末在庫率	(%)	13.7	7.4	10.2	9.2		1.8ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.56	4.35	5.70	5.70	24.9(円/kg)	31.0%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは約0.4047ヘクタール。

【貿易動向：トウモロコシ】

輸出価格、8カ月連続で上昇し、前年同月比35.8%高

2021年3月のトウモロコシ輸出量は、948万5123トン（前年同月比2.1倍、前月比50.1%増）と前年同月および前月からいずれも大幅に増加した。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS^{（注）}）は、1トン当たり255.2米ドル（2万8327円、同35.8%高、同1.5%高）と前年同月からは大幅に、前月からはわずかに上昇し、過去1年の最安値（2020年7月）と比べ、53.1%の上昇となった。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれない。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（3月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	9,485,123	2.1倍	50.1%
うち 日本	1,748,631	32.1%	46.7%
中国	1,747,591	—	55.6%
メキシコ	1,641,446	37.4%	55.4%
韓国	1,026,708	2.1倍	2.4倍
コロンビア	713,053	63.2%	86.2%
台湾	565,924	4.7倍	2.9倍

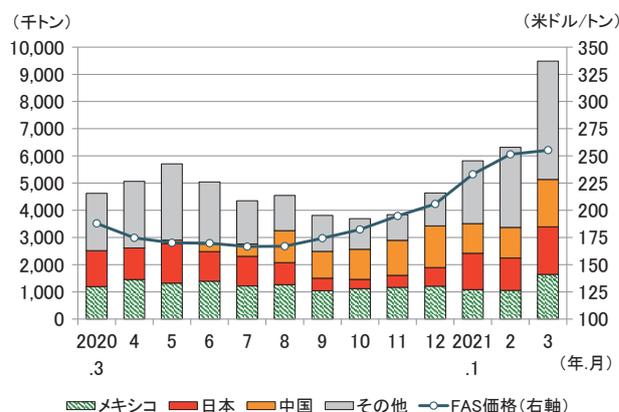
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

（参考）米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

【貿易動向：コーンスターチ】

3月の輸出量は前年同月および前月から大幅に増加

2021年3月のコーンスターチ輸出量は、1万6473トン（前年同月比25.6%増、前月比29.5%増）と前年同月および前月から大幅に増加した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり621.0米ドル（6万8931円、同5.4%安、同7.2%安）と前年同月からはやや、前月からはかなりの程度下落した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（3月）

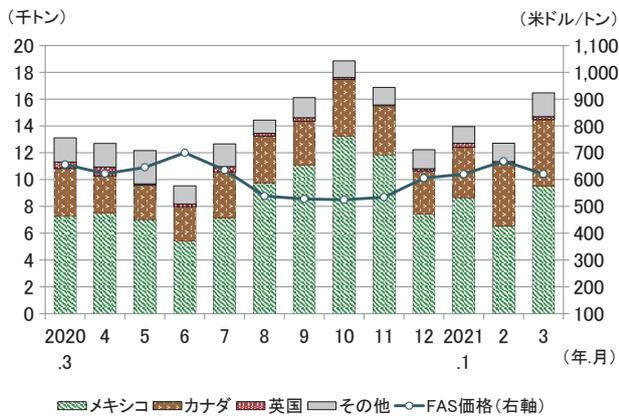
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	16,473	25.6%	29.5%
うち メキシコ	9,497	30.7%	45.5%
カナダ	4,979	39.5%	6.5%
豪州	326	35.3%	47.5%
コスタリカ	240	12.6倍	12.0倍
ブラジル	235	117.5倍	2.8倍
英国	215	▲54.8%	48.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出货量および輸出価格の推移

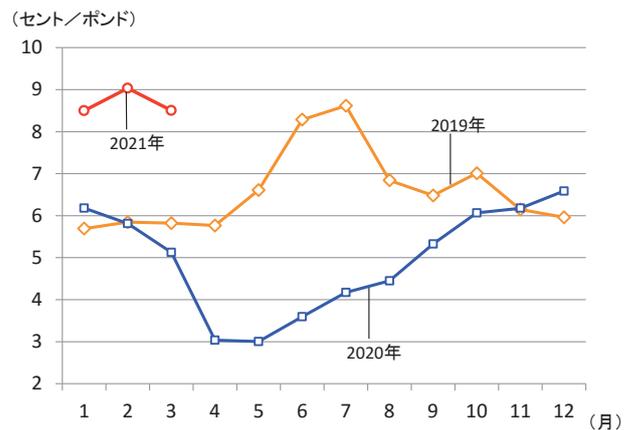


なお、米国農務省経済調査局 (UDDA/ERS) によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における2021年3月の製粉業者の純費用は、1ポンド(注)当たり8.50セント(9.4円、前年同月比65.9%高、前月比5.9%減)と前年同月からは大幅

に上昇したものの、前月からはやや下落した。

(注) 1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

2020/21年度のキャッサバ生産見通し、3カ月変化なし

タイ農業協同組合省農業経済局 (OAE) の2021年5月現在の予測によると、2020/21年度(10月~翌9月)のキャッサバの収穫面積は916万ラ

イ(146万ヘクタール(注)、前年度比2.7%増、前月同)、単収は1ライ当たり3.29トン(同1.2%増、前月同)、生産量は3011万トン(同3.8%増、前月同)であった(表6)。

(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	一単位一	2018/19年度	2019/20年度 (推計値)	2020/21年度		
				(4月予測)	(5月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	867	892	916	916	2.7%
生産量	(万トン)	3,108	2,900	3,011	3,011	3.8%
単収	(トン/ライ)	3.59	3.25	3.29	3.29	1.2%

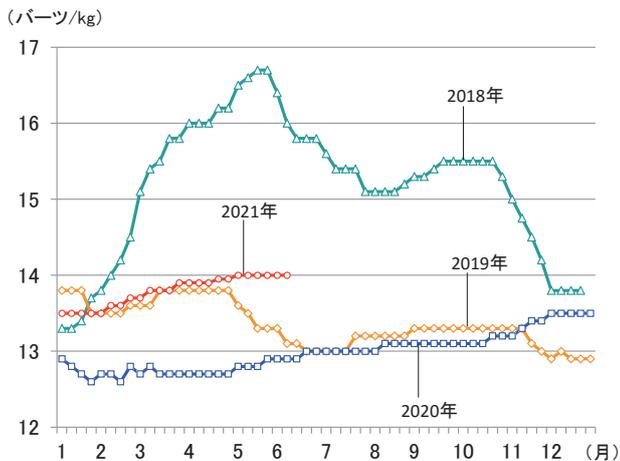
資料: OAE『農業経済2021年5月』
注: 年度は、10月~翌9月。

【価格動向】

国内価格、前年同期からかなりの程度上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2021年6月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり14.0バーツ（50円、前年同期比8.5%高、前週同）と前年同期からかなりの程度上昇し、4月第4週以降連続して14.0バーツで推移している（図3）。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注：当該週の原則火曜日の価格。

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月および前月から大幅に減少

2021年4月のタピオカでん粉輸出量は、23万7751トン（前年同月比16.6%減、前月比46.7%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

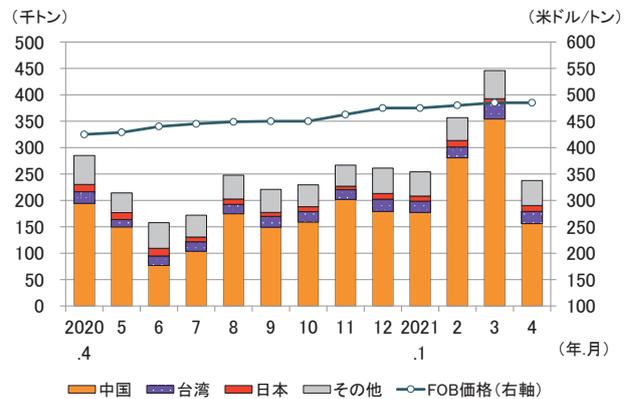
同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり485.0米ドル（5万3835円、同14.1%高、前月同）と、前年同月からかなり大きく上昇した。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（4月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	237,751	▲16.6%	▲46.7%
うち 中国	155,902	▲19.7%	▲56.0%
台湾	23,280	5.3%	▲20.3%
マレーシア	12,501	3.5倍	38.3%
日本	11,083	▲19.3%	19.8%
米国	7,948	▲35.4%	▲13.0%
フィリピン	7,858	2.3倍	▲39.9%

資料：「Global Trade Atlas」
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考） タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA [Weekly Tapioca Starch Price]
注1：HSコード1108.14
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。
注3：価格はバンコクのFOB価格。

ベトナム

【生産動向】

南部でキャッサバの新时期作付けが進む中、キャッサバモザイク病が拡大

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、2021/22年度（8月～翌7月）のキャッサバの新时期作付けは、北部に引き続き南部でも進んでいるとしている。作付面積が同国第2位のタイニン省では、4月下旬時点でほぼ作付けが完了している状況にある一方、同国第1位のザライ省では、気温が高く晴天が続いているため作付けは滞っており、一部のキャッサバで枯死が発生しているほか、キャッサ

バから近時、価格環境が良好な砂糖の原料作物であるサトウキビへの転作の動きが見られることから、キャッサバの作付面積は前年度比で10~15%程度の減少が予測されている。

なお、キャッサバモザイク病^(注1)は4月30日現在、中央直轄5都市および58省のうち、1市19省(前月から1省増加)の合計7万1551ヘクタール(前年度比23.2%増)で感染が確認され、前月比(3月12日)では35.0%増と被害の拡大が進んでいる^(注2)。

(注1) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最終的には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカンボジアの一部で流行が確認されている。

(注2) 同国におけるキャッサバの作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタールで推移している。

【貿易動向】

4月の輸出量は前年同月および前月から大幅に減少

AgroMonitorによると、2021年4月のタピオカでん粉輸出量は、10万5672トン(前年同月比51.2%減、前月比35.6%減)と前年同月および前月から大幅に減少した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量(4月)

輸出先	輸出量(トン)	前年同月比(増減率)	前月比(増減率)
合計	105,672	▲51.2%	▲35.6%
うち 中国	100,238	▲51.2%	▲36.3%
韓国	2,191	5.4倍	36.9%
台湾	1,614	▲56.6%	▲44.1%
パキスタン	476	NA	55.6%
南アフリカ	261	▲57.1%	▲10.3%
バングラデシュ	228	▲13.0%	-

資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「NA」は事実不明なもの、「-」は輸出実績なし。

(参考) ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基に AgroMonitor 作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量(累計)上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR[※]価格。(※ Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い)

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

3月の輸出量、前年同月および前月から大幅に増加

2021年3月のばれいしょでん粉輸出量^(注)は、3万8385トン(前年同月比37.6%増、前月比33.8%増)と前年同月および前月から大幅に増加

した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格(FOB)は、1トン当たり584ユーロ(7万8840円、同16.2%安、同4.8%安)と前年同月からは大幅に、前月からはやや下落した。

(注) EU27カ国の輸出量。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（3月）

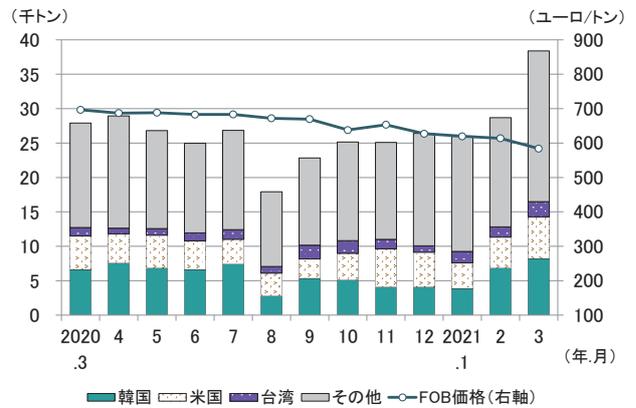
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	38,385	37.6%	33.8%
うち 韓国	8,217	23.8%	19.8%
米国	6,058	24.1%	35.9%
中国	3,366	2.7倍	2.7倍
台湾	2,215	82.5%	45.9%
英国	1,844	43.3%	36.2%
タイ	1,534	51.9%	12.0%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

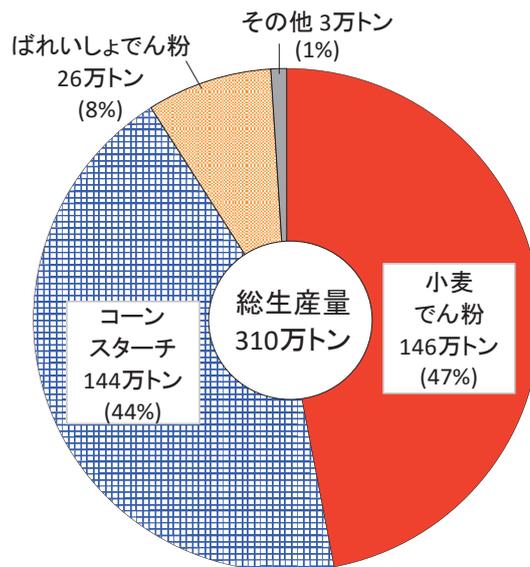
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

コラム フランスの小麦および小麦でん粉の生産動向

フランスでん粉協会（USIPA）によると、2019年の同国でのでん粉生産量は310万トンであり、品目別に見ると、小麦でん粉が47%と最も多くを占め、次いでコーンスターチが44%、ばれいしょでん粉が8%であった（コラム-図1）。本コラムでは、同国でのでん粉事情のうち小麦でん粉とその原料となる小麦の生産動向を紹介する。

コラム-図1 フランスの種類別でん粉生産量（2019年）



資料：USIPAの資料を基に農畜産業振興機構作成

フランスで栽培されている小麦にはパン小麦とデュラム小麦の2種類がある。パン小麦はフランスで最も生産されている穀物であり、過去5年を見ると北部を中心に全国で1年当たり2762万～3955万トン生産されている（コラムー表）。パスタなどで使用されるデュラム小麦と比較してパン小麦はでん粉含有量が高いため、でん粉製造に適しているとされる。

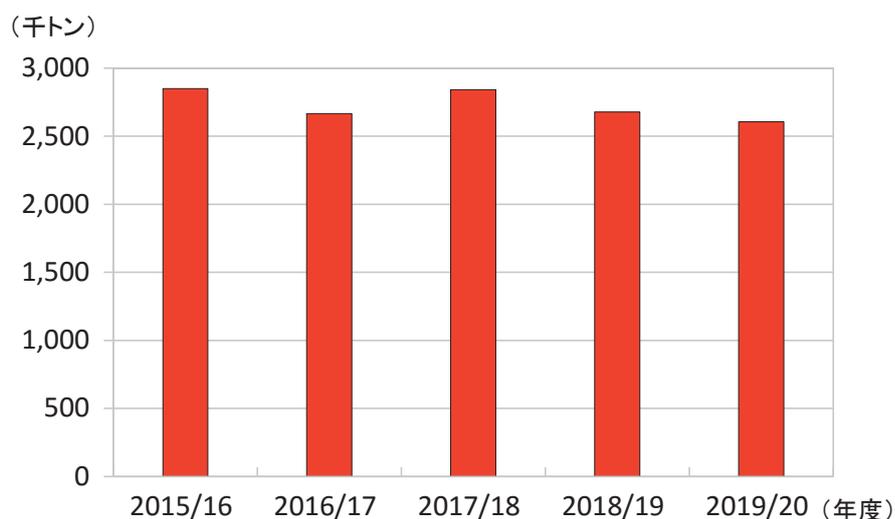
コラムー表 小麦の作付面積、生産量および単収の推移

	2016	2017	2018	2019	2020
作付面積（千ha）	5,542	5,332	5,234	5,245	4,513
うちパン小麦	5,139	4,962	4,880	4,999	4,262
うちデュラム小麦	403	370	354	246	252
生産量（千トン）	29,316	38,678	35,841	41,114	30,427
うちパン小麦	27,621	36,559	34,045	39,551	29,141
うちデュラム小麦	1,696	2,119	1,796	1,563	1,286
単収（トン/ha）	-	-	-	-	-
うちパン小麦	5.4	7.4	7.0	7.9	6.8
うちデュラム小麦	4.2	5.7	5.1	6.4	5.1

資料：FranceAgriMer

フランスの農産物・海産物のための国家機関であるFranceAgriMerによると、でん粉およびグルテン製造に使用されるパン小麦は、過去5年を見ると1年当たり267万～285万トンである（コラムー図2）。主な小麦でん粉メーカーはADM Chamtor社、Roquette社、Tereos社の3社であり、工場はパン小麦の主産地である北部に集中している。

コラムー図2 でん粉およびグルテン製造に使用された小麦の量



資料：FranceAgriMer
注：年度は7～翌6月。

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通りである。

タイ

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月からはやや、前月からはかなり大きく減少

2021年4月の化工でん粉の輸出量は、9万3680トン（前年同月比5.9%減、前月比13.9%減）と前年同月からはやや、前月からはかなり大きく減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出量（4月）

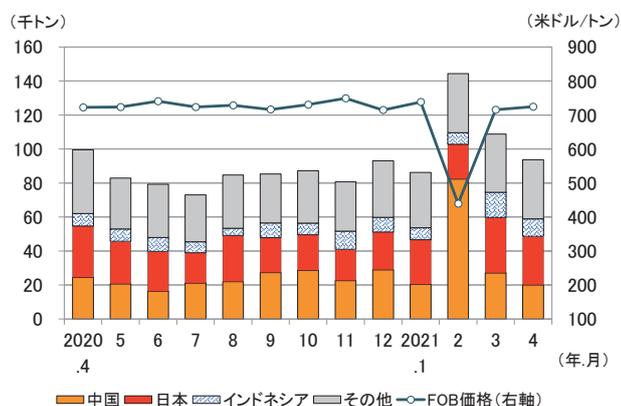
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	93,680	▲5.9%	▲13.9%
うち 日本	28,655	▲5.2%	▲12.2%
中国	19,988	▲18.2%	▲26.2%
インドネシア	10,297	39.1%	▲30.4%
韓国	7,660	▲8.8%	12.7%
米国	4,085	31.2%	▲11.8%
インド	4,005	3.5倍	41.6%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) タイの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



米国

【貿易動向】

3月の輸出量、前年同月からはわずかに、前月からはかなり大きく増加

2021年3月の化工でん粉の輸出量は、2万9813トン（前年同月比1.4%増、前月比15.3%増）と前年同月からはわずかに、前月からはかなり大きく増加した。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量（3月）

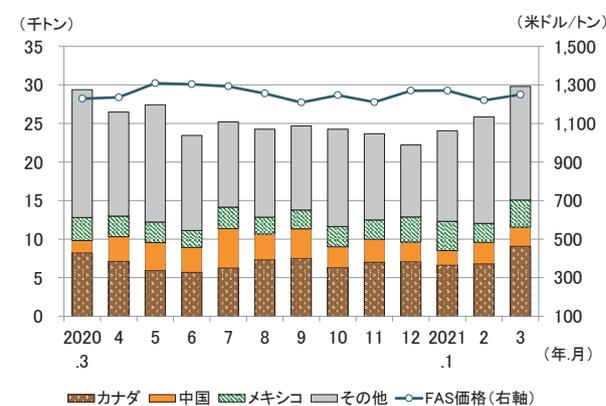
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	29,813	1.4%	15.3%
うち カナダ	9,090	10.4%	33.4%
メキシコ	3,511	17.6%	43.2%
中国	2,462	55.9%	▲10.9%
日本	1,342	38.2%	89.5%
コロンビア	1,129	20.5%	▲4.4%
インドネシア	1,057	▲13.4%	73.8%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

(参考) 米国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



中国

【貿易動向】

4月の輸出量、前年同月からかなり大きく、前月からはかなりの程度減少

2021年4月の化工でん粉の輸出量は、7627トン（前年同月比11.1%減、前月比6.0%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からはかなりの程度減少した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（4月）

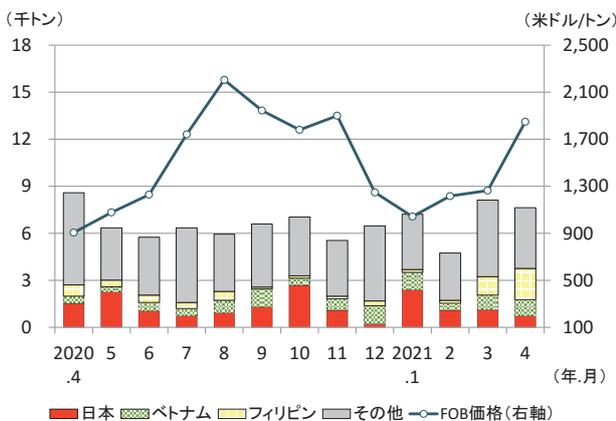
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	7,627	▲11.1%	▲6.0%
うち フィリピン	1,992	2.8倍	68.2%
ベトナム	1,006	2.2倍	9.6%
日本	758	▲50.5%	▲33.1%
インドネシア	510	32.1%	▲49.6%
インド	454	90.8倍	34.7%
台湾	408	▲49.8%	0.2%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考）中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

EU

【貿易動向】

3月の輸出量、前年同月からやや、前月からはかなり大きく増加

2021年3月の化工でん粉の輸出量^(注)は、6万586トン（前年同月比3.0%増、前月比14.0%増）と、前年同月からはやや、前月からはかなり大きく増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表13の通りである。

(注) EU27カ国の輸出量。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（3月）

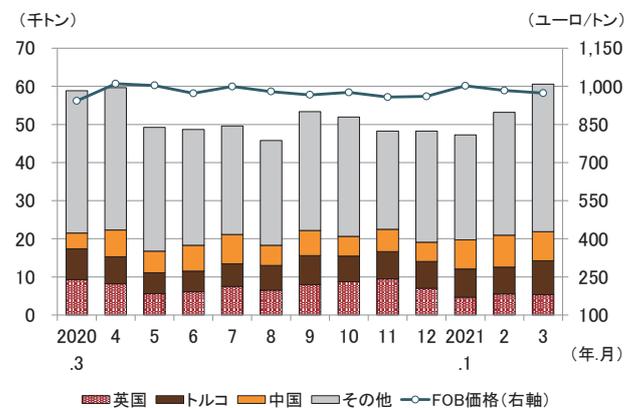
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	60,586	3.0%	14.0%
うち トルコ	8,889	10.2%	26.6%
中国	7,586	84.4%	▲9.4%
ロシア	6,118	▲3.5%	9.9%
英国	5,375	▲42.2%	▲3.3%
韓国	3,054	23.4%	94.4%
米国	2,783	20.6%	37.5%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

（参考）EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

豪州

【貿易動向】

3月の輸出量、前年同月からかなり大きく、前月からは大幅に増加

2021年3月の化工でん粉の輸出量は、2357トン（前年同月比13.5%増、前月比41.9%増）と前年同月からはかなり大きく、前月からは大幅に増加した。同月の主要輸出先国別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（3月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	2,357	13.5%	41.9%
うち 日本	1,209	▲15.5%	54.0%
米国	940	-	99.2%
ニュージーランド	106	▲68.7%	▲44.2%
台湾	36	▲50.0%	前月同
タイ	19	▲65.5%	19.0倍
韓国	18	12.5%	▲10.0%

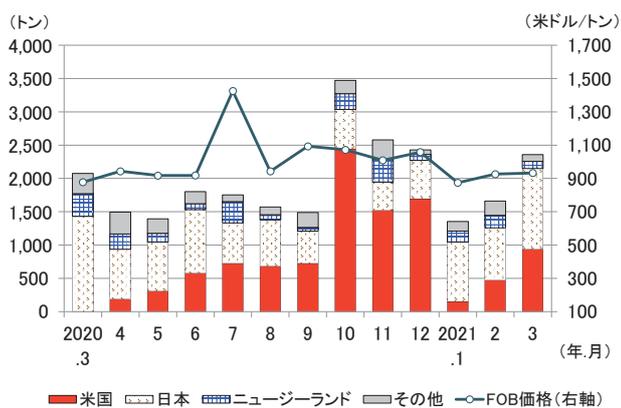
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「-」は、輸出実績なし。

(参考) 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。